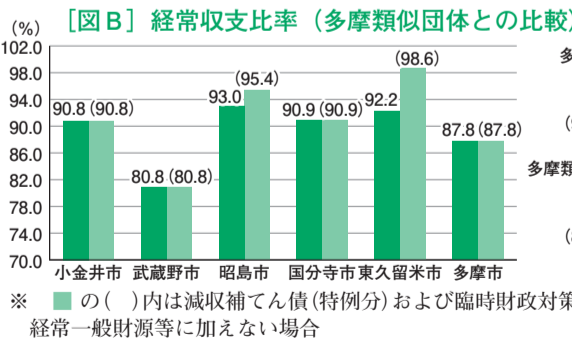
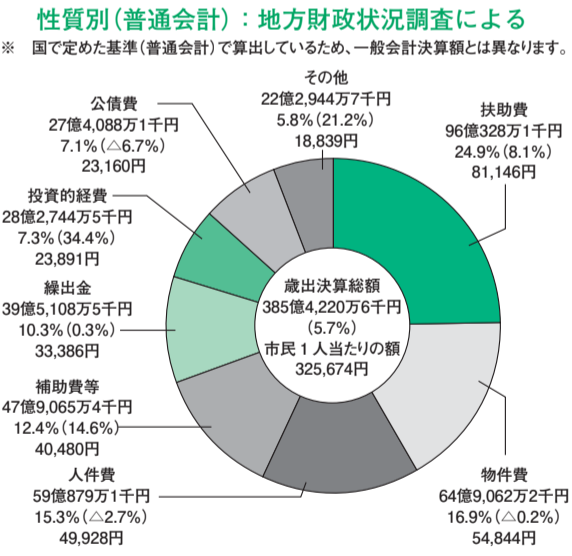
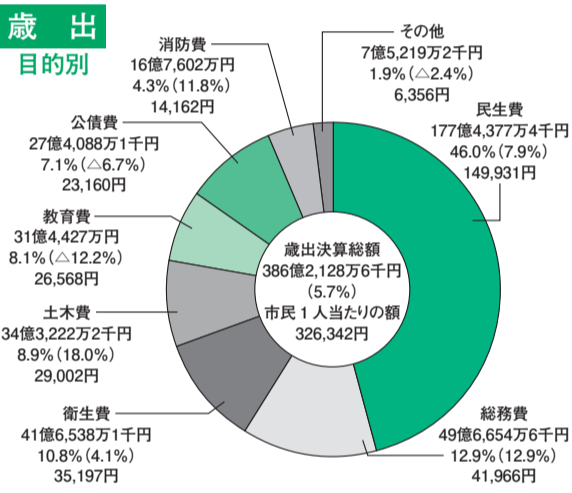
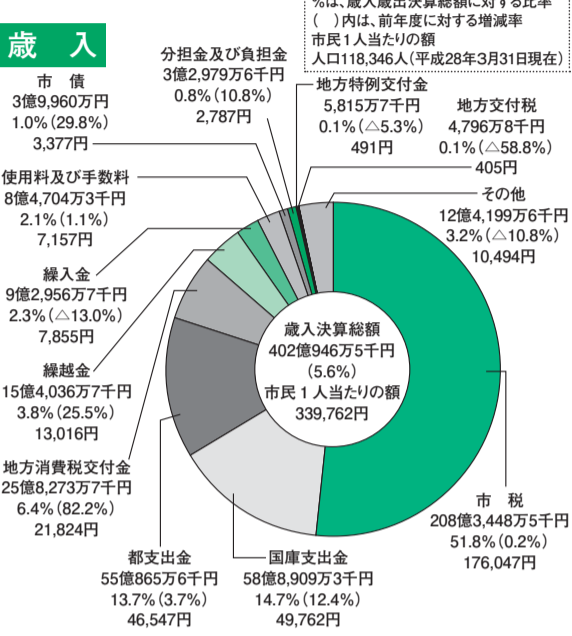


# 平成27年度決算の概要

# 「選ばれるまち小金井市」をめざして 真の行財政改革を進めてまいります

【図A】 一般会計決算状況



**一般会計**

平成27年度は、歳入の根幹である市税収入は、法人市民税が減少となりましたが、固定資産税は評価替えの影響等により増となりました。また、地方消費税交付金では消費税引き上げの影響が通年化し大幅増となりましたが、普通交付税が不交付となりました。一方、歳出では社会保障関連経費等が増となり、財政調整基金の取り崩し等による財政運営となり、依然として

厳しい財政状況が続いてい  
ます。  
予算規模は、当初予算373億  
4千万円に9回の補正予算24  
億2千3百万8千円、繰越事業  
費繰越財源充当額1億4千5百  
万円を加え、総額399億916万  
8千円でした。これに対する決  
算額は、歳入総額が402億946万  
5千円、歳出総額が386億2千128  
万6千円、前年度対比5・7  
%の増となりました。形式収  
支は15億8千817万9千円、  
東小金井駅北口土地区画整理  
事業委託料等4件による翌年

度への繰越財源4千617万3千  
円を差し引いた実質収支は、  
15億4千200万6千円となり、  
前年度から2千80万円の増と  
なりました。この結果、実質  
収支比率は7・1%となり、  
前年度を0・2ポイントの減  
となりました。

主な財政指標については、  
人件費比率は15・3%で、前  
年度から1・3ポイントの減  
となりました。(図A)

現在、本市の人口は微増傾  
向にありますが、人口ピジヨ  
ンでは将来的に人口減少、高  
齢化が進んでいくことが予想  
されています。(図B)

このような状況を踏まえ、  
これからの行財政運営は、未  
来をひらく小金井市改革を進  
め、選ばれるまち小金井市と  
なるとなっています。

して、若年層や子育て世代の  
定住を図ることで、生産年齢  
人口の維持や増加、将来を担  
う年少人口の増加をめざさな  
ければなりません。また、駅  
周辺のまちづくり、可燃ごみ  
の安定的な処理体制の確立は  
もとより、清掃関連施設の再  
整備を慎重かつ丁寧に進め、  
防災拠点としての庁舎、福祉  
会館機能の早期建設という重  
要課題に取り組み、次世代で  
ある子どもたちに引き継いで  
いかなければなりません。

市では、納めていただいた市税がどのように使われているか  
など、財政に関する事項のご理解を深めていただくため、定期  
的(年2回)に財政状況を公表しています。  
今回お知らせするのは、平成27年度の決算概要および平成28  
年度上半期(4月1日～9月30日)の状況です。(6～8面に  
も掲載)

「平成27年度小金井市一般会計・特別会計歳入歳出決算書」  
(一部3千300円)は会計課(市役所第二庁舎1階)で、「平成  
27年度主要な施策の成果に関する説明書・基金の運用状況に関  
する調書」(一部千円)は、財政課で販売しています。  
なお、決算書等は、図書館本館および情報公開コーナー(市  
役所第二庁舎6階)でご覧いただけるほか、市ホームページで  
も公開しています。

問合せ 財政課財政係(市役所本庁舎2階 ☎042-387-9800)

**【用語説明】**

**【一般財源】**  
市税、地方交付税など、使い道が制限されない収入

**【経常一般財源等】**  
一般財源のうち、毎年経常的に収入される財源、主に地方税や地方譲与税

**【形式収支】**  
歳入決算総額から歳出決算総額を単純に差し引いた額

**【経常収支比率】**  
市税など経常的に入ってくる収入が、義務的で固定的に支出される経費(人件費、扶助費、公債費など)にどれだけ使われているか示したもの

**【実質収支】**  
形式収支から、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額

**【類似団体】**  
都市の態様を決定する要素のうち、人口、産業構造の類似した普通地方公共団体。多摩地区では、速報値によると、武蔵野市、昭島市、国分寺市、東久留米市、多摩市が本市の類似団体となります。

**【投資的経費】**  
普通建設事業費(道路の新設、学校の建設などの経費)、失業対策事業費、災害復旧事業費をいいます。

**【普通会計】**  
総務省の基準による統計上の会計。他市との財政状況の比較は、この会計の数値で行っています。

**【一般会計】**  
特別会計を含まないすべての歳入、歳出を経理する会計

**【地方財政状況調査】**  
地方自治法等の規定に基づき、総務省が毎年定期的に行う全国統一基準の普通会計決算の数値を用いた統計調査。地方財政を分析・検討する基礎となります。

**特別会計決算状況** (単位：千円)

区分	当初予算額	補正予算額	最終予算額	歳入決算額	歳出決算額	形式収支
国民健康保険	12,452,411	171,118	12,623,529	12,576,219	12,078,591	497,628
下水道事業	1,522,658	△17,161	1,505,497	1,490,084	1,468,168	21,916
介護保険	7,557,915	△241,643	7,316,272	7,041,833	7,011,322	30,511
後期高齢者医療	2,448,039	△50,890	2,397,149	2,368,981	2,352,996	15,985
合計	23,981,023	△138,576	23,842,447	23,477,117	22,911,077	566,040

**特別会計**

国民健康保険特別会計、下  
水道事業特別会計、介護保険  
特別会計、後期高齢者医療特  
別会計の4つの特別会計を設  
置してこれらの経理を明確に  
しています。(左表)

「市民一人ひとりが大切にさ  
れ、真の幸せを実感できるま  
ちづくり」の実現のため、市  
民、議会、行政が一丸となり、  
誇りの持てる小金井、住み続  
けたいと願われる小金井、市  
民力が結集された小金井の創  
造に努めてまいります。